

嘘つきは人事課であり現場管理者だ！

加藤さんを嘘つき呼ばわりし人格を否定した会社を許さない！

加藤さんの苦情処理会議参加をめぐる

会社の理不尽な対応に抗議

名古屋地本副委員長の加藤さんに対し医適を利用し、出向命令が出されました。この間の「名古屋地本情報なごや」で明らかにしてきましたが、加藤さんが現場で出向先の労働条件を受けたことに対し、『苦情申告』を行い、またその二日後に出された出向の事前通知に対して『簡易苦情申告』を行いました。

嘘つき呼ばわりして加藤さんの出席を拒否した人事課係長

人格の否定は絶対許されない

加藤さんは、JR東海労名古屋地本の副委員長であり、苦情処理会議また簡易苦情処理会議で会社との交渉担当の窓口であり両会議のメンバーでした。この間、申告当事者が会議に出席してきた例もあり、本人もかつて自分の苦情での会議に出席したこともあったので、当然今回の苦情処理会議に出席する旨を会社の窓口担当の森係長に伝えました。

すると係長は「調べたが加藤さんは参加していない」さらには「会議の幹事として嘘をつかれるような人は冷静な議論ができない」などを理由に出席を拒否しました。しかし、事実は加藤さんは以前、苦情処理会議に参加していました。結果、苦情処理会議には参加することになりました。後日、係長から「迷惑をかけた」と謝罪がありましたが、人格を否定されて謝罪がこの一言で許される訳がありません。

恫喝まがいの嘘で会議出席を拒もうとした人事課係長

今回の一連の出来事で明らかになったのは、現場管理者の病気治癒後に車掌復帰可能と言った嘘、また人事課係長の加藤さん本人を苦情処理会議に出席させないための嘘など加藤さんに対してついた二つの嘘はこの会社の社員管理の姿勢が浮き彫りになりました。会社の都合で社員をどうにでもする、都合が悪ければ平気で嘘をつく、これが今の会社の現実なのです。

JR東海労名古屋地本は加藤さんと共に

車掌として復帰する日まで闘います

